



「とうきょう すくわくプログラム」は、すべての乳幼児の「伸びる・育つ（すくすく）」と「好奇心・探究心（わくわく）」を応援する幼保共通のプログラムです。

江東めぐみ幼稚園はとうきょうすくわくプログラムに参加しています。

令和6年度 とうきょう すくわくプログラム活動報告書

江東めぐみ幼稚園（1276450）

1. 活動のテーマ

音「和太鼓や他の楽器の音を感じよう」

＜テーマの設定理由＞

自由遊びの中で、身近な物を楽器に見立てて遊び、叩いた音の違いに気づくなど、子供達は音への興味を示していました。当園では毎年音楽会を開催しており、楽器の種類や数も豊富にある環境です。専門講師による指導も受けながら、子供達が和太鼓や様々な楽器に触れ、多様な音に出会い、音への探究心を深めてほしいと思いテーマを設定しました。

2. 活動スケジュール

- 9月 音に興味を持つ
- 10月 音遊び
- 11月 和太鼓体験
- 12月～1月 音楽会へ向けてのリズム打ち、和太鼓演奏
- 1月 音楽会
- 2月 音楽会の上映会（振り返り）
- 3月 打楽器体験

3. 探究活動の実践 <活動内容>

① ♪音に興味をもつ♪

『どんなおと?』という絵本を見て、音を想像し、身体で音を表現して音への興味関心を高めました

【読んだ本】

『どんなおと?』

tupera tupara さく

(株) 教育画劇



絵本を読みながら「りんごをかじるとどんなおと?」「はみがきをするるとどんなおと?」と問いかけると、子どもたちからは「シャリッ」「シャカシャカ」などの言葉が返ってきました。絵本を進めていくと、言葉だけでなく、手を広げたり電車の真似をしたりなど、動作をつけて表現する姿も。目を閉じて耳をすまし「どんなおとがきこえる?」と読むと「とけいのおと」「かぜのおと」など、普段気にしていない音が聞こえてくることに気づいた様子でした。

② ♪音遊び♪

身近にあるものを使って、音を鳴らし、音の違いや自分の好きな音探しをしました

活動のために準備したもの

ストロー、割り箸、紙を細長くまるめた棒、空のペットボトル、水を入れたペットボトル（水量をかえて数本）、バケツ、カゴ（大小）、ミルク缶、空き箱

ストロー、紙の棒、割り箸の順に子どもたちに渡し、教室内でいろいろな音を鳴らしてみました。

「どんな音がする?」と問いかけると、「トントン」「コンコン」「パンパン」など、繰り返す言葉が多く出てきました。気になった様々な物を叩いてみて、音のなり方、音の大きさを感じとり、「こんな音がたよー」「ほんとうだねー」と楽しそうに友達同士で伝え合う姿が見られました。



保育室にある物を叩いたらどんな音がするのだろう?と、興味津々な様子で試している姿がありました



友達同士で感想を伝え合い、コミュニケーションが広がっていました

③ ♪ 和太鼓体験 ♪

和太鼓に触れ、音の響きや音色の違いを体感し、新たな音への関心を深めました

本物の和太鼓を見て、「どんな音がすると思う？」と聞いかけると「ドンドン」「ドーン」「カンカン」「コンコン」という答えが返ってきました。先生が和太鼓を叩くと、その音の大きさにとても驚いた様子。

実際に自分たちで叩いてみると、「楽しい！」「大きい音」「ドーンって音がするっ！」という声があがりました。3つの長胴太鼓を叩き、同じ長胴太鼓でも音の違いがあることを知り、その理由を考え、発言したり、友達の意見を聞いて賛同する姿がありました。和太鼓への興味が高まったようです。



大きさの異なる長胴太鼓と締太鼓を体験

④ ♪ 音楽会へ向けて、 リズム打ち・和太鼓演奏 ♪

リズム積木を和太鼓に見立て演奏した時と和太鼓で演奏した時の音や響き、迫力の違い、叩き方によっての音の違いを体感しました

活動のために準備したも

長胴太鼓、締太鼓、バチ、リズム積木、小太鼓

系列の他の幼稚園が和太鼓を使っている時は、先生お手製の「リズム積木」や小太鼓を使って練習します。リズムを叩く時は、集中して先生の方を見て叩く子どもたち。本物の楽器ではなくても、バチで叩いて音を出すのが楽しい様子でした。



本物の和太鼓を叩いた時は、「大きな音だね」「かっこいい音だよ」「ドーンって響くね」という声が聞かれました。強く叩いたり、優しく叩いたり、その音を聞いてどうだったか聞いかけると「強く叩いた方がよく聴こえる」「よく響いた感じがする」と音の変化に気づいていました。音楽専門講師のアドバイスを得て、どう叩いたら良い音で演奏できるかを考え練習を重ねます。音への関心が深まる中で、自分で考え音を作りだすことへの探求心が養われました。また、みんなで何度も練習し表現力を高めていきました。

⑤ ♪ 音楽会 ♪

練習した成果を保護者の前で発表することの喜びを感じ、文化センターの大ホールでの音の響きを体感しました

緊張しながらも、練習の成果を発揮して、仲間と一緒に息の合った演奏をしていた子どもたち。舞台袖では、他のクラスの演奏を聴いて「すごいね」「大きいね」という声がもれ聞こえてきました。

本番後、「演奏してみてどうだった？」とたずねてみると、「楽しかった！」「ドキドキした」「音が大きかった」「音がいつもより響いていた」などの声が聞かれました。大きな舞台上で演奏し、その音や響きを感じたことは喜びや自信に繋がりました。



⑥ ♪ 音楽会上映会 ♪

音楽会の演奏をスクリーンで鑑賞し、自分たちの演奏や練習の時との音や響きの違いを知りました

活動のために準備したもの

スクリーン、プロジェクター、パソコン、マイク

音楽会で演奏した映像を年中さん全員で鑑賞しました。とてもワクワクした様子で「楽しみー」「早く見てみたい！」と声が聞こえました。映像が始まると、集中して観ている子、リズムに合わせて叩く真似をしている子、掛け声を口ずさむ子など、様々な姿が見られました。自分たちの映像だけでなく、他のクラスの演奏も聴き、曲によっての和太鼓の音の違いや聴こえ方の違いを知ることが出来ました。



⑦ ♪ 打楽器体験 ♪

幼稚園にある打楽器を体験！ 様々な打楽器の音を聴き、実際に奏でる体験をしました

活動のために準備したもの

マリンバ、バスマリンバ、ビブラフォン、バスドラム、スネアドラム、ティンパニ、マレット、バチ、マリンバ台

たくさんの楽器が並んでいるのを見て、興味津々な子どもたち。マリンバの音を聴いて、「かわいい音」「きれいな音」「チャイムみたい」などの声が聞かれました。「マリンバ、バスマリンバ、ビブラフォンは何でできていると思う？」という問いかけに「木！」「鉄！」との回答。ビブラフォンは違った音がしたので、笑いが起きたり、「面白い！」と言ったり、大きな反応がありました。



手前からマリンバ、バスマリンバ

4. 振り返り <振り返りによって得た先生の気づき>

活動を通して、どんな音がするのかを考え、音の鳴り方・鳴らし方を知り、音への関心や探求心を高めることが出来ました。心地良い音、好きな音、大きい音、小さい音、嫌な音など、様々な音があることに気づき、その音によって子どもたちの表情が変わります。好きな音の時は楽しそうにし、あまり聞こえなかったり、うるさい音の時は、つまらなそうな顔や嫌な顔をしたりと、音によって気持ちの変化や表現の仕方が変わりました。音や演奏を聴く中で、感じたことを保育者や友達と共有し、自分と違う表現に共感したり笑い合ったりと、コミュニケーションをとるきっかけにもなりました。

音楽専門講師のアドバイスを受けながら、和太鼓や楽器の演奏をすることで、「音を聴く」だけでなく、楽器を自ら奏で、音を作り出していく楽しさを体感し、どのように演奏すれば「良い音」が奏でられるのかを考え、音への探求心を育む活動に繋がりました。音は子ども達にとって興味深いもので、多くの発見があり、楽しい、面白いという気持ちを引き出すと共に、人間関係を広げるものでもあると分かりました。今後も様々な音に触れる機会を作っていきたいと思います。